

ニュースリリース

抗癌活性および抗炎症活性を有する、新規性活性ペプタペプチド (アミノ酸配列「YGSR S」)

～～ 国内発の取り扱い始まる(世界34ヶ国に特許公開素材) ～～

ワイドプランニング株式会社(本社:東京都目黒区、社長:水見 学)は、このほど世界34ヶ国で特許公開(世界29ヶ国で特許取得済)済みの新規性ペプタペプチド*1「YGSR S」と、自社原料である「大豆発酵熟成エキス」(乳酸菌マイクロ熟成エキス)との商品化を開始するにあたり、医療機関での臨床データ取りを開始しました。

新規性ペプタペプチド「YGSR S」の抗癌活性及び抗炎症活性への期待に併せて、自社原料である腸内環境改善目的素材との組み合わせによる、多くの可能性を見い出してまいります。

商品発売予定は、2009年1月下旬より、医療機関を経由した販売及び、相談薬局・並びに販売代理店経由で提供を開始いたしました。

また、新規性ペプタペプチド「YGSR S」を用いた原料の供給やOEMの提案も併せて行っております。

◆*1「YGSR S」:米国マサチューセツチュー州在住の発明家により、特許取得された特殊機械システムで抽出・精製・同定された、アミノ酸配列が5つのペプタペプチドの事で、米国BRL社でのInvivo試験等に於いては、驚異的な効果を示す結果が得られました。アミノ酸の配列は下記の通りの4種5残基【Y】チロシンー【G】グリシンー【S】セリンー【R】アルギニンー【S】セリン

□特許国際公開番号:WO-A1-2005066200 (世界34ヶ国公開済)

□米国特許承認No:7390874 B2

□ヨーロッパ特許承認No:1710251 (28ヶ所)

特許公開内容:「発明の名称」

新規ペプチドとその製造方法およびそのペプチドを含有する医薬組成物

◆「抗癌活性および抗炎症活性」データ:特許取得データによるとラットによるInvivo試験では、強力な抗炎症作用が認められ、マウスによるInvivo試験でも同様な抗癌作用の良好な結果が得られました。又、抗癌活性並びに抗炎症活性試験共に、生体における毒性は認められませんでした。

本製品「YGSR S」および「大豆発酵熟成エキス」に関するお問い合わせ先
ワイドプランニング株式会社 ペンタス部門
電話03-3713-0021 担当:水見(みずみ)